

国語科古典 B 学習指導案

指導者

印

- 1 履修単位数 3単位
- 2 実施日時 令和 3 年 12 月 16 日(木) 第5時限
- 3 学 級
- 4 使用教科書 『改訂版 古典 B 漢文編』(数研出版)
- 5 単元(題材)名 ものの見方, 感じ方, 考え方を豊かにする
(『史記』鴻門之会・四面楚歌・項王自刎)

6 単元設定の理由

生徒たちは古典学習に対して、真面目に取り組むことができるが、苦手意識を持っている者も多い。また生徒たちの学習は文法・句形学習が中心となっており、内容の読解や作品を読み味わうことが疎かになりがちになっている。長文ではあるが、司馬遷の『史記』は躍動感あふれる人物の姿が生き生きと描かれており、様々な角度から登場人物の姿を読み取り、読み味わうことができる教材である。今回の題材では、グループ学習等を取り入れ、生徒自身が能動的に学習できる場面を授業の中に設けることで、古典に興味を持ち、理解や関心を深めることによって、人生を豊かにする態度を育成することが可能であると考え本単元を設定した。

7 単元の目標 領域【読むこと】

- ・古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、もの見方、感じ方、考え方を豊かにしようとする。(関心・意欲・態度)
- ・古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察する。
(読む能力 「内容(1)エ」)
- ・古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解し、内容や構成を展開に即して的確にとらえる。(知識・理解 「内容(1)ア・イ」)

8 取り上げる言語活動(学習活動)

文章中の表現を根拠に、漢文に表れた人物の生き方や考え方などについて読み取る。その読みとったことをもとに、グループで「項羽」「沛公」の人物像について意見を交換し、読みを深めていくとともに、自分の考えをグループで伝え合うこと。

(「内容(2)のウ」)

9 単元の評価規準

- A 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、もの見方、感じ方、考え方を豊かにしようとしている。(関心・意欲・態度)
- B 古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品や登場人物について考えようとしている。(読む能力)
- C 漢文を読むための語句の意味・用法・句法を理解し、内容や構成を的確にとらえている。(知識・理解)

10 指導計画

次	学 習 活 動	評価の規準と方法
第1次 10時間	○文章の構成や展開を読み取る。(「鴻門之会」『剣舞』『頭髮上指す』『豎子、与に謀るに足らず』) ・語句の意味・用法・句法を理解し、現代語訳する。 ・「鴻門之会」に関する DVD 映像を見て人物関係などを視覚的に理解させる。	評価規準 C 「記述の点検」
第2次 2時間	○文章の構成や展開を読み取る。(「四面楚歌」)	評価規準 C 「記述の点検」

第3次	<p>○ 登場人物に関して文章に描かれた情景，心情などを表現に即して的確に読み取り，人物像や項羽の敗因について考察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の人物像を捉え，項羽の敗因を考える。・・・本時(2/3) ・項羽の人物像についての学習を踏まえて，「項王自刎」を学習し，項羽の最期の思いについて考える。 	<p>評価規準 B</p> <p>「行動の観察」</p> <p>「記述の分析」</p>
-----	---	---

11 本時の目標と評価規準

「鴻門之会」から「四面楚歌」までの文中に描かれた「項羽」「沛公」の人物像が分かる部分を根拠に，登場人物について考え，項羽の敗因について考察することができている。また，グループで意見を伝え合うことで，読みを深めることができている。 (読む能力)

12 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における 具体的評価規準と実際	評価方法
導入 5分	・本時の目標を確認し， 学習課題をつかむ。	・目標，授業の流れをワー クシートで確認させる。		
展開 15分	・ エキスパート活動 A～Dグループに分か れて，「項羽」・「沛公」 の人物像が分かるところ を確認・整理する。	・各グループごとに A『剣舞』B『頭髪上指す』 C『豎子与に謀るに足らず』 D『四面楚歌』に分かれて， 本文を根拠に人物像が分か るところをワークシートに 書き込み，グループ内で共 有させる。	「読む能力」 ・人物の行動・場 面の様子を的確に 読み取り，自身の 読みを伝え合うこ とができている。	行動の観察
15分	・ ジグソー活動 各グループで話し合った 内容を持ち寄って新しい グループを作り，各場面 の人物像について整理す る。	・A～Dグループで話し合 った内容を書き込んだワー クシートを持ち寄り，新た なグループでそれぞれの場 面での登場人物の様子を発 表させる。	Cの生徒への指導の手立て これまでの学習プリントなどを参 考に，「項羽」「沛公」の人物像が 分かるところを指示する。	行動の観察
10分	・新しいグループで「項 羽」「沛公」の人物像を まとめ，項羽の敗因につ いて話し合う。	・新しいグループでの話し 合いを通して，人物像をま とめ，項羽の敗因について 考えさせる。 ・人物像の捉え方がグルー プで大きく異なる場合，根 拠をもとに話し合い，意見 をまとめる。	「読む能力」 ・意見を比較して 考えを深め，「項 羽」「沛公」の人 物像を捉え，課題 について考察する ことができている。	行動の観察
		話し合った内容を MetamoJiClassroom に 書き込み，発表準備をさせる。	Cの生徒への指導の手立て 現在の言葉や行動に置き換えて考え るよう指示する。	
まとめ 5分	・発表を聞いて，本時の 振り返りを書き込む。	・次時の予告をする。		記述の確認